

## 平成25年第9回田原市教育委員会定例会会議録

1 開会 平成25年9月19日 午前10時00分

2 閉会 平成25年9月19日 午前10時54分

3 会議に出席した委員

山本栄子委員長、渡邊峰男委員、山本明子委員、  
金原真人委員、嶋津隆文委員

4 会議に欠席した委員

なし

5 会議に出席した職員

教育部長

前田和宏

教育部次長兼教育総務課長

中村文紀

給食センター所長

原 猛

学校教育課長

山本克仁

生涯学習課長

渡会照一

文化財課長

河辺勝郎

図書館長

豊田高広

6 議事日程

別紙のとおり

## 田原市教育委員会第9回定例会議事日程

日 時 平成25年9月20日(金)

10時00分

場 所 北庁舎2階 200会議室

- 1 会議録署名者の指名
- 2 教育長報告事項
- 3 議案
  - (1) 田原市文化財保護審議会委員の任命について
- 4 報告事項
  - (1) 教育委員連絡報告事項
  - (2) 学校規模の適正化について
  - (3) 田原市議会第3回定例会一般質問について
  - (4) 小中学校への寄付について
- 5 その他

山本委員長

開 会 午前10時00分

おはようございます。

ご多用のところ、ご出席くださいますありがとうございます。

ただいまの出席委員は、5名であります。定足数に達していますので、平成25年田原市教育委員会第9回定例会は成立いたしました。

これより開会します。

はじめに、会議規則第14条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、渡邊委員と山本明子委員のご兩名を指名させていただきますのでよろしくお願いします。

それでは議題に先立ちまして、教育長報告事項をお願いします。

#### 教育長報告

嶋津教育長

きのう、大草の月見会に行きました。その後、お城でやった月見会、お月さんの、すごく煌々たるのを見て、ああ、そういえばかぐや姫も月に行ったけども、栄子姫も月へ帰っちゃうんだなという、感無量の思いをして、最初にこれを申し上げていかないと思ひ、寂しくなります。いろいろとありがとうございました。

それで、一応、記録にも残るということがあって、今日は一つだけ、例の教育委員の選任についての経緯と、それから今のところの状況をお話して、私の少し気持ちみたいなものも残しておきたいと思っているものですから、ご案内をしたいと思っています。

きのう、委員の選任について議会での議員懇談会がありまして、もし反対討論する人がいれば、きょうの5時までに出るという動きになっています。出なければ25日にそのまま採決するという形になります。

きのうの議員懇談会では、各全員の議員とそれから執行部側は副市長と総務部長、それから私と教育部長が出席しまして質問がありました。各委員からいろいろな意見がありました。要は、どういう基準で選んだのかと。それに対しては市長サイドなものですから、林副市長が答弁をしました。私も一貫して言っている3つの理由で選んだと。その前提としては、どうして各地域割りをこわしたのかということを中心に、どんな基準で選んだかという話で出ました。

それに対して、1つ目は学校改革を何としてでもやりたいということを教育委員会から聞いている。それから2つ目に

依然不登校を重視していきたいということも聞いている。それから、スポーツ振興をやっていきたいと。この3つを担う人間として選定したところ、一応、横田威さんを選んだと。そういう説明をしました。

それに対して、こんな意見もありました。これから例えば、赤羽根だけ、赤羽根が何にもなくなるとか、それから田原が何にもなくなるとか、そんなことがあることも十分あるのかと。これから全市的に、全地域的に、全田原でやるというときに、そういうこともあり得るのかという話が質問としてありました。それに対して、林副市長からは、あり得るという話もしました。

それから彦坂議員からは、男女の平等というか、そういったところにしても、持つべき手はないだろうかという話もありました。

いずれにしても、そんなことの中で少し議論をして最終的にどうするかは、きょうの夕方までに出す人が出すというようなことになったようです。私もそのときに申し上げたんですけども、教育委員会ということに対して、一言、担当者として申し上げたいということをお話をしました。それは一番ベースに、やっぱり自分としてありますのは、教育委員会制度が戦後50年あって、どうしても憲法と同じように外から持ってきたところに無理があって、ボランティアを前提とした教育委員会制度でなってきた。その結果、どうしても月1回とか、それから、たかが2万や5万の金で、できることって限られるわけです。常設ならともかく。そういう制約の中で、しかし急に制度は変わらないですから、できるだけ自主的な行動のできるような、そういう教育委員会にしていったほうがいいんじゃないかという、そういう思いがありますと。そんなことで市長なんかには、お願いをしておりますという、そんなことも申し上げました。

そんなところで、3つ、自分としては10月1日からやりたいというように思っています。この前から、申し上げていることですけども、1つは教育委員の部屋をつくると。いつもかばんを持ってうろうろしていただくような、そういうみっともないことはさせたくないというか、気楽に来て自分たちの部屋として使ってもらおうという意味で、今の文化財課の向うにある、ちょっと部屋は小さいんですけども、そこをいつでも使ってもらえるように、そういう仕組みにしようじゃないかというのが1点目です。

2点目は、どんな会議にでも参加をして、参加したいとい

うことであれば参加していただくという形にしたいと思っています。要するにフリーパス制度と言うんですか。どういう会議があるかは、この教育委員会のときに、ぼんと出しますので時間があったり、興味があたりするものについては、出ていただいて構わないと思っています。出てくれということは、なかなか時間を拘束することになるから申し上げられませんけども、とにかく全てにフリーパスにしようということが2点目です。

その結果、市役所は月曜日の朝一に市長や全部長が集まって議論をしたり、報告をするわけです。そのことを踏まえて、教育委員会では、火曜日の朝、その報告会をするんですね。例えば、そういったものにも出ていただいても構わないと。そうすれば全庁的な動きもわかるし、いずれにしても個別な会議も含め、全てフリーパスにするようにいたしたいと思っています。

3点目は、ちょっと10月1日に間に合うかどうか、間に合わないんでしょうけども、教育企画室みたいなもの。教育改革室みたいなものをつくって、今、教育総務課長が中心になってやってもらっていますけども、学校の改革。それから、いじめ、不登校とか、ホットな課題について対応できる。それを教育委員と一緒に対応できるような、そういう組織を一つ、つくりたいという具合に思っています。どういうふうに機能させるか、機能できるかは、なかなか、はっきりとまだイメージが出せませんけども、いずれにしても部屋をつくること。フリーパスにすること。それから教育改革室みたいなものをつくること。その3つを、とりあえず提案をしながら、それでもってできるだけ皆さんが動きやすい、我々が動きやすい。そんな教育機関にできたらいいかなという具合に思っています。

特に今回の教育委員の選任をめぐるの、いろいろなやりとりの中で、そんなことも一つの方向性として出しながら、皆さんと一緒に一味違う教育委員会に。要するに国のほうは、もう教育委員会なんか要らないんだとか、それから、そういう厳しい大津のいじめなども含めて、いっぱい話がありました。そんなことの中で、非常に否定的な教育委員会に対する風当たりがあります。それを押し返す意味でも、田原方式の教育委員会の、新しい形として今のような形をとっていただけたいかというように思っています。

そんな思いを述べながら、とりあえず今、25日の教育委員の選任を待っているという状況です。

以上です。

再編の問題については、また後ほど出てきますので、そこで私のほうで少しフォローをすることがあろうかと思えますけども、とりあえず報告というか、少し気持ちを申し上げさせていただきました。

よろしくをお願いします。

ありがとうございました。

ただいま教育長からの話、教育委員会についてお話がありました。報告事項につきまして、ご質問等がありましたら、よろしくをお願いします。

(「なし」と言う者あり)

ご質問等もないようですので、教育長報告事項を終わりにして、議案に入りたいと思います。

議案第14号 田原市文化財保護審議会委員の任命についてを議題といたします。

事務局の説明をお願いします。

文化財課からお願いをいたします。

議案第14号であります。田原市文化財保護審議会委員の任命についてでございます。はねていただきまして、名簿をつけてございます。

今回、4名の候補者、委員を再任という形をお願いをするものでございます。上から順に、藤井忠氏でございます。野田町の在住でございます。再任ということでございます。

次、2段目、葉山茂生氏でございます。和地町在住で同じく再任という形でございます。

伊藤博文氏、若見町在住でございます。再任ということでございます。

渡邊幸久氏、高松町在住でございます。再任でございます。

任期は、25年10月1日から27年の9月30日、2年間でございます。この文化財保護審議会議員は、全部で10人以内の委員で、2年の任期を持つということを補足させていただきます。

以上、4名の方をお願いし、候補者としてお願いするものでございます。

なお、事前に確認しましたところ、それぞれの委員さん、承諾をいただいておりますので、つけ加えをさせていただきます。

以上です。

ありがとうございました。

説明が終わりましたが、文化財保護審議会委員の任命につ

山本委員長

文化財課長

山本委員長

いてご質問がありましたらお願いします。

(「なし」と言う者あり)

それでは、ご質問等もないようですので、お諮りいたします。

議案第14号 田原市文化財保護審議委員の任命について原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

ご異議がないようですので、議案第14号につきましては原案どおり可決いたしました。

次に、報告事項に入りたいと思います。

はじめに、教育委員連絡報告事項について、委員の皆さん、報告事項はございますか。お願いします。

金原委員

先週土曜日、若戸小学校の運動会に行ってみりまして、生徒数が少ないせいか、やっぱり規模が小さくなったなという感じがしました。一つ、初めての競技を見させていただきました。玉入れという競技は従来ありますね。玉入れの勝敗が決まった後に、逆に今度、玉集めというのをやったんですわ。紅白。それ、ほんとにすばらしい案だなと思って「用意ドン」で白と赤が散らばっているやつを一斉に白、赤、箱の中に入れるんです。それで勝敗をつけるんです。だから片づけが速いこと。

それともう一つ。私ごとですけど、じゃんけんで6番になりまして賞品をゲットしたんですけども、最後10人になったときに来賓席から「お前、間違っても頭取るじゃないぞ」という声がありまして、この負けたときは、ほんとにほっとしました。

以上です。

山本委員長  
山本明子委員

ありがとうございます。

9月の初めですね。トライアスロンの大会で私は、あんなに間近でスタートを見るのが、初めてでしたので、とても壮大な大会でした。最後まで見られなかったのが残念ですけども、いい経験させていただきました。

それと、9月の定例会以降ですと、東部中学校の体育大会が行われるはずだったんですが、延期になりまして火曜日ですね。私、ちょっとご無礼させていただいてしまい、はじめの開会式のときに挨拶だけ行かせていただいたんですけど、台風のちょうど次に日だったんですね。台風の被害については、あんまりその辺は聞いてないです。

そんなところですよ。

渡邊委員

私もトライアスロンに出て、先週、神戸の運動会に午前中

行きまして、神戸ソーランを初めて見ましたけれども、りりしいというか、入場も退場も音楽はなく、静かに出てきてやるという。曲があったほうがいいよねという意見もあり、あれはあれで何かこう静かな登場でいいんじゃないかというように思いました。

昼から泉のほうへ行きまして、泉も小さい学校ですので地域一体となって、綱引きやら、いろいろやって、まとまっているなという気はいたしました。

以上です。

山本委員長

私はそのトライアスロンと、13日に福江中学校の運動会に行きました。福江中学校は、トラック競技が目の前でやっていました。楽しませていただきました。

ありがとうございます。こんなところです。

山本委員長

それでは、ほかにないようですので、次の学校規模の適正化についての報告をお願いします。

教育総務課長

それでは、堀切小学校を考える会のニュースと野田中学校を考える会にニュースということで配付させていただきました。

まず、堀切小学校を考える会を今回、これが2回目ということで、まだまだ地域には行きわたってないというようなことで、2回目ということで配布されたようです。

まず、この中身は8月5日に開催されました伊良湖岬中学校で開催されました3校区合同の懇談会についてです。

それから1枚めくっていただきました2ページでございますが、堀切校区でアンケート調査を実施いたしました。その結果の概要が2ページにまとめられておりますので、また、お見通しをいただきたいと思えます。

それから3ページ目は、8月5日に教育委員会のほうで提示をさせていただきました学校再編についての案ということで、載っております。

ということで、これが配付をされております。

それから、野田中学校の関係でございますが、野田中学校についてはこれまでの開催状況ということで、それぞれ記載されておりますが、野田校区については第2号ということで。野田校区については全戸配布を予定されているようでございます。このあと、野田については来週の火曜日ですけれども、この考える会を主体に、実際に赤羽根中学校と田原中学校の学校の視察を予定しております。

ということで、野田については、ゆっくりというか、いろいろ両隣の中学校の様子も確認をしながら、今後決めていく

山本委員長

嶋津教育長

ということで予定をされているそうです。

以上です。

ありがとうございました。ただいまの説明に何か質問はありますか。ございませんか。

これだけだと、ちょっと時期がずれちゃうので小学校について少し補足をしておきます。伊良湖と和地と堀切の小学校については、3校区会長名で前から10月頃に要望書を出すという話がありましたけども、具体的にそれぞれ進んで一応行きます。いつごろになるか、わかりませんが。和地小学校に暫定的に移る、将来は学校をつくるという要望に加えて、スクールバス、跡地、校舎はしっかり住民の意見を聞いてほしいとか、そういうようなことが多分10項目ぐらい並ぶんじゃないかと思うんですけど、それを整理して、それで10月ごろ要望するよということで動いているようです。

その一方で、野田にも関係するんですけども、中学校については渥美8校区でまとめて、まず1校にするかどうか。それから行き先として、どういうところがいいかということをや年末から年始にかけて出していくとしているんですけども、今ちょっと足並みが乱れてるというか、ちょっとトーンが違ってきています。そんな慌ただしくやらなくても、みたいなのがるように、きのうきょう、聞いています。

もう一つは一応、校区のほうでこれからどうするか、8校区で決めるということで、作業を福江校区会長さんや、それから和地校区会長さん、なんかを中心に動くことになっていたんですけども、その作業がかなり本格的にやろうということを考えていて。例えば、新しい学校をどうイメージするかという分科会。それから、そのための例えばどこに行き先を決めるかの分科会。そういうのをつくって全部PTAを置いてやろうというようなことを考えている。その結果として、そんなたくさん、とても校区でやれないぞ。これは教育委員会でやらせるべきじゃないかという話になったりして、行ったり来たりしている。その事務的に、どこが事務作業をするかという話で、結構真剣な議論が行われていて、そのことがもう一つあって、どうも8校区のほうについては、ちょっと予定どおりにはいかない。

すなわち、中学校の問題については、年末にとか、年始に決着をつけるということが少し難しいのかなというように思っています。

そうであれば、1、2年においても、小学校だけとりあえず移ってくれば、今、一段落はするものですから、僕のほ

うとしても議論を尽くすことを先行してくださいというように、きのうきょう各校区長に話をしているのがあります。

先ほどの野田のほうについては、もし年度末ぐらいに要望書が出せるといいなど。そう急に言うと、急いでやるような、そういう性格の土地柄じゃないものですから、少し時間をかける。かけるけれども、できれば年度内ぐらいにいきたいな。でもそれも、ほかの中学校の動きを見ながらというような話があるものですから、どうなるかなと思いつつも、一応、校区会長や渡邊委員さんなんか尽力もあって野田は比較的、時間をかける、積み重ねをするかのように、段取りを踏みながら結構、着実に進んでいくというのがあるものですから、意外と年度末には出てきてくれるのかというように思います。

今のところの状況です。

野田は1校区ですが、8校区の意見ということになると、なかなか校区役員さんも変わっていく。

一番大変なのは福江でね。

たくさんだとなかなか難しいですね。かえって野田の方が先にどっちかの学校へ。いかがですか、今の教育長さんのお話でご意見は。どうですか。

それでは次の、田原市議会第3回定例会についての報告をお願いします。

一般質問の報告をさせていただきます。

今回、議員の方から一般質問があった中で、教育関係に關しましては、一番上の辻史子議員の2番目、3番目。2番目ががん教育の推進、それから三つ目のいじめ防止対策推進法の制定を受けたと。この二つが辻史子議員からです。

それから5人目の藤井敏久議員から小中学校の再編についてという、そういった質問がありました。

1枚はねていただきますと質問の内容がありますので、どういうふうに答えたかをお見せいたしますと、辻史子議員のがん教育の推進についての1問目。児童生徒へのがんの正しい知識を見つけるがん教育の推進に対する本市のこれまでの認識についてという問いに対しては、生活習慣病や喫煙の影響の一つとして、がん教育を取り上げてきたというようなことであります。

それから、2番目の今後のがんに対する保健教育に対する見解についてという答えに関しては、文科省が今後また学習指導要領の改訂の中で、内容を拡充していくので、それに合わせて今後進めていきますよという、そういった答え方をしております。

山本委員長

嶋津教育長

山本委員長

教育部長

次に、いじめ防止対策推進の制定に向けてという質問ですけれども、1番目の努力義務とされている地域いじめ防止基本方針を策定するのかという、そういった質問に対して、今回、教育振興基本計画、これの見直しの作業をしておりますので、その中の柱としてやっていきたいというふうな答え方をしました。

それから二つ目のいじめ防止対策推進法の制定を受けて、地域社会と連携した子どもの健全育成についてはどう考えるかというような、そういった質問に対しては、今、新たに赤羽根に教育サポートセンターをつくりましたので、これを充実しながら関係機関と連携してやっていきますという、そういう答え方をいたしました。

次に、藤井敏久議員の小中学校の再編についてという質問ですけれども、1番目の伊良湖小学校、堀切小学校を和地小学校に統合し、新たな小学校としてスタートさせるとの案、たたき台であるが、新小学校発足までの今後のスケジュール及びコンセプトについてはという質問に対しては、先ほど教育長が言われたように10月に3校区から要望書が出てくるという、そういった予定になっておりまして、要望書が出て来次第、また教育委員会に諮って方針決定をさせていただきたいと思っています。

その後は、統合にかかる準備委員会を組織するというところで準備委員会には、教育委員会と学校、PTA、地元。そういった方々に入っていて、そういった組織をしていきたいなと思っています。その中で学校名であるとか、PTA、それから通学の方法。そういったものを協議しながら、並行して新しい学校のコンセプトを具体的に話し合っていくというふうに思っておりますというふうな答え方をしました。

それから2番目の、伊良湖岬中学校の統合、渥美8校区で協議することであるが、そこに至るまでの背景についてという、そういった質問に対しては、7月の11日に渥美8校区の校区会長から、そういった要望書が出てきましたので、それを受けて渥美地区全体の課題として検討していくということで、それ今、教育委員会も一緒になって協議していくというふうに答えております。

それから三つ目の、中学校の再編に向けた田原市の将来像について市教委の考え方はというような質問の中では、基本的に120人以下の小規模校、これを適正化に向けてやっていくんですけれども、最終的には、渥美地区で1校、それから赤羽根地区で1校、田原地区で2校の中学校が、田原市の将来

像であるというような、そんな答え方をいたしました。

以上が今回の一般質問の質問と、それから答えの要旨であります。

山本委員長

ありがとうございます。

ただいま、事務局の説明がありました田原市議会第3回定例会一般質問について、ご質問等がありましたらお願いします。

(「なし」と言う者あり)

嶋津教育長

ちょっと補足を一つしておきます。

意見がいろいろ電話でもかかってきたものですから、何かというと、中学校の再編に向けた田原市の将来像について、四つの学校をつくるという答弁をしたんですよね。それに対して、特に渥美のほうから渥美の中学校をどうするかという議論をしているときに、もう渥美で1校というのは、おかしいじゃないかというクレームがついたんですね。僕らの議会での答弁の趣旨は、120人未満の小さい学校を統合していくと渥美地域、赤羽根地域、それぞれのところはどうしても1、1、2という。そういう割合になるということを行ったんですよね。そのことと、今度の発言について渥美で1校ということになると、福江と泉と岬の、この三つで一つだという言い方に捉えるわけですよ。

そうではなくて、渥美地域で1校なんだけども、ひょっとしたら岬中は赤羽根、行くかもしれないと。泉は田原中に行くかもしれないと。そういう可能性も十分あるけれども、それはそれで、どこの学校が一緒になるかは別。今のままでいくと、渥美で一つ、赤羽根で一つ、それから田原で二つという、全部で四つになりますという、そういう答弁をしたつもりなんですけども、もう決めちゃったのか、俺たちやる意味がないなのか、すごくあせっちゃったんですけども、その辺ちょっと誤解があるといけないので申し上げておきます。

山本委員長

ありがとうございます。

それではいいですか。

それでは、次の小中学校寄附についての報告をお願いします。

教育総務課長

それでは、資料の5番目ですけども、平成25年8月29日に鈴木福三さんから、赤羽根小学校へ教育振興のためということで、児童用書籍53冊、10万円相当の寄附がありましたので報告をさせていただきます。

鈴木福三さんは赤羽根小学校の同窓生ということです。

以上です。

山本委員長

ありがとうございます。

ただいま事務局の報告がありました小中学校の寄附について、ご質問等がありましたら、お願いします。

(「なし」と言う者あり)

質疑等もないようですので、次の、5その他に移ります。

何かございますか。

教育部長

資料を配らせていただきましたのですが、福江小学校に17日の日、今週月曜日ですけれども。

前にもあったわけなんですけれども、実は先週、学校のほうから福江小学校連合子ども会の名前で、保護者の方にドッチビー大会の説明会をやりますよと。12月22日に本大会をやるんですが、その説明会をやりますよという通知を出したら今週の月曜日に、このような脅迫めいた文書が来たわけです。この内容は「子ども会のドッチ中止しろといったはずだ。延期するのは許さない。今年の子ども会行事に延期、許さない。ドッチやったときは子どもたち、けがをすることになる。中止しろ」というような、そんなような文面なんです。

すぐ学校のほうから警察のほうに、これを届け出て次の日18日の日に、子ども会の役員さん方が集まって協議をいたしました。その結果、12月22日の大会は行くと、実施するというようなことが決まりました。もちろん警察にもお願いしながら万全を期して、子どもたちの送り迎えも考えながらやりたいというようなことを言っておりましたので、よろしくお願いしたいと思います。

以上です。

山本委員長

以前新聞に、こういうのがありましたね。どこかの学校で。小学校で、こういう脅迫が。だからやっぱり、そうやって出たほうがいいのかと思います。

山本委員長

ほかに何かありますか。

教育部長

もう1点、この間の台風の被害ですけれども、それほど大きな被害はなくて特に小中学校にしても倒木、木が倒れたり、多少、前々から雨漏りもありましたけども、そういったものがあるだけで大きな被害はなかったです。

以上です。

山本委員長

ほかには、これはいいですか。

文化財課長

配り物が、すみません。ありがとうございます。

現在、田原の博物館は企画展の第一弾、本年度の10周年の企画展第一弾ということで、この図録にあります渡辺華山、椿山の花・鳥・動物の美の展覧会を先週の土曜日から始めたところであります。

先ほど、教育長が言われたように、きのうはお月見会がありまして、きのうのお月見会の展覧で250人ぐらいと聞いております。大変、にぎやかなお月見展覧会でありました。ということがありまして、安定的に現在、入っている様子が見られます。これが第一弾。

第二弾のちらしができたての、ほやほやですみません。ちょっと持ってきたんですが、渥美窯、国宝を生んだその美と技ということで、これが10月の19日から約1カ月始まります。ご覧いただいているのは、これが国宝の秋草文壺でございます。思ったよりは小さいかもわかりませんが、この国宝と同じく国宝としては、ちょっとギ面にあります、ちょっと小さいですが、国宝経筒外容器ということで、朝熊山、伊勢の朝熊山です。これが2件目の国宝ということで、同時にこれ、並ぶそういったスタイルでやっていく予定です。

そのほか重文、急のものを含めて、お借りしたものがそこに並ぶかどうか、ちょっとそんなレイアウトが今、心配するんですけども、あまりぎちぎちに締めてもと思うんですが、それぐらい今、全国的に輸送業務を含めてお願いして、ほぼラインナップがそろっておりますので、お楽しみにしていただければなど、そんなふうに思いますので。学校のほうにも、実は子どもの教育にもこれはぜひ、いいだろうという思いがありましてバスも出すからということで、それぞれアンケートを取りまして、何校かは「それじゃあ行くか」というような、そういったご返事もいただいておりますので、ぜひ教育の場面でも提供していきたいなというような思いがありまして、やってまいりますのでよろしく申し上げます。

簡単ですけど、以上です。

学校教育課長

学校教育課から、連絡をお願いします。

9月26日に田原中学校と堀切小学校の学校訪問を行います。山本明子委員、それから金原委員に要項をおわたしました。この日は大変に忙しい日でありまして、午後から堀切小の県の学校安全実施実地審査ということを行う予定で、県のほうから、教育委員会から指導見学に来ると。さらにNHKが堀切小学校の避難の様子を取材したいというふうなことで、堀切小学校、非常にたくさんの方がお見えになる中での学校訪問ということで、時間的にそれに間に合わせるために田原中学を8時ということで。それからさらに、お昼を食べる時間がないということで給食がないので、田原中学校に行つて11時30分ぐらいに、またここへ戻ってきて市役所の食堂を、お昼に食べていただいて動くというような、非常に過密なス

スケジュールですけれども、よろしくお願ひしたいと思つてい  
ます。

もう1件は、昆山市からの生徒がまいります。本年度は比  
較的、落ち着いていて、交流について文科省等で注意事項は  
出ておりませんので、向こうから昆山市から来るといふ状況  
で、こちらは受けとめるということでもありますので、関係が  
あります。ご予約をつけていただいて出席いただけるとあり  
がたいと思つております。

以上です。よろしくお願ひします。

金原委員

それから、もう1点お願ひしたい。

食物アレルギーがありますね、学校給食なんかで。その注  
射なんか打ちますわね。その注射って、全先生に一応、講習  
か何かを受けさせているんですか。それとも保健の先生だけ  
が打つわけですか。

学校教育課長

現在、市内においてエピペンを使つている児童生徒はいま  
せん。持つている状況の生徒はいないといふことで、比較的、  
それについては緊急性がないとは思つていますが、本年度、  
子育て支援課の保育園の先生と、それから学校教育の保健の  
先生を対象にして、エピペンの打ち方の講習を行う予定であ  
ります。

全員の先生ということになると、なかなか難しいので、今  
回は保健の先生対象にということですよ。

金原委員

一応、あれはどこの学校にも置いてあるわけですか。

学校教育課長

ないですよ。

金原委員

置いてははないんですか。

学校教育課長

子どもが持ってきます。子どもに応じて対応する注射です  
ので、それはないといふ状態ですよ。

山本委員長

給食センター、生涯学習のほうはいかがですか。

生涯学習課長

特にないよ。

山本委員長

それでは、本日の議事等はすべて終了いたしました。

ご協力ありがとうございました。

これをもちまして、田原市教育委員会第9回定例会を閉会  
させていただきます。ありがとうございました。

閉 会 午前10時54分